

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年8月9日
【四半期会計期間】	第48期第1四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）
【会社名】	株式会社 桑山
【英訳名】	KUWAYAMA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 桑山 貴洋
【本店の所在の場所】	東京都台東区東上野二丁目23番21号
【電話番号】	03（3835）7231（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐伯 仁
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区東上野二丁目23番21号
【電話番号】	03（3835）7231（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 佐伯 仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第1四半期 連結累計期間	第48期 第1四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高 (千円)	8,007,574	8,448,925	38,493,368
経常利益 (千円)	40,813	264,412	825,328
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(千円)	11,512	174,599	512,795
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	148,710	71,063	266,931
純資産額 (千円)	15,639,442	15,505,565	15,667,139
総資産額 (千円)	33,640,409	32,964,604	31,445,841
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(円)	1.14	17.36	50.99
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	46.5	47.0	49.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第48期第1四半期連結累計期間及び第47期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また第47期第1四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費は消費者マインドに足踏みが見られ、また海外でも中国をはじめとする新興国の経済減速や、英国のEU離脱問題などから世界景気の不透明感が強まっており、予断を許さない状況が続いております。

当業界に関わりの強い個人消費は、先行き不安感からの節約志向が続き、市場環境は弱含みで推移しております。

こうした中、当社グループにおきましては、「クオリティ・ファースト」を掲げ、製品品質のみならず企画提案力や営業対応力をも企業活動の品質と捉え、その改善・強化を進めております。この方針のもと、国内市場では付加価値の高い新商品の提案により売上・利益を着実に伸ばし、ジュエリー製造国内トップシェアの地位を磐石とし、卸売市場分野でも(株)エヌジェーの子会社となった(株)HAKKOインターナショナルとの商材交流などの相乗効果によりシェアを拡大しました。

海外市場では、中国での経済成長減速に影響された宝飾市場の販売減少や、国際的なダイヤモンド市場の衰勢により、在来販路ではやや苦戦を強いられましたが、新商品の投入や新規販路の開拓によって売上を確保しました。また6月に出展した北米屈指のジュエリーフェアでも、当社製品が世界のトップデザイナー、トップブランドの作品を抑えて、デザインコンテスト・プラチナ部門のWinner(最高賞)となり、今後の同地域での市場開拓に期待が持てる展開となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は84億48百万円(前年同四半期比5.5%増)となり、営業利益は3億31百万円(前年同四半期比3,062.1%増)となり、経常利益は2億64百万円(前年同四半期比547.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億74百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円)となりました。

(2)財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ15億18百万円増加し329億64百万円となりました。主な要因はたな卸資産の増加9億67百万円、流動資産その他の増加7億59百万円、投資その他の資産の減少1億41百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ16億80百万円増加し174億59百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加3億62百万円や、短期借入金の増加17億13百万円、長期借入金の減少3億72百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億61百万円減少し155億5百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億74百万円、為替換算調整勘定の減少77百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億67百万円、配当金の支払90百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注および販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注および販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動および主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,929,100
計	22,929,100

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成28年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,331,546	10,331,546	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	10,331,546	10,331,546	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年4月1日～ 平成28年6月30日	-	10,331,546	-	3,013,529	-	2,944,369

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 274,800	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,054,500	100,545	同上
単元未満株式	普通株式 2,246	-	同上
発行済株式総数	10,331,546	-	-
総株主の議決権	-	100,545	-

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式18株が含まれております。
- 3 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 桑山	東京都台東区東上野 二丁目23番21号	274,800	-	274,800	2.7
計	-	274,800	-	274,800	2.7

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日以後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第47期連結会計年度 新日本有限責任監査法人

第48期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 監査法人A & Aパートナーズ

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,859,789	3,324,892
受取手形及び売掛金(純額)	4,907,068	4,435,273
商品及び製品	7,237,596	8,182,120
仕掛品	2,093,711	2,520,389
原材料及び貯蔵品	1,897,405	1,493,229
繰延税金資産	99,810	101,048
その他	489,186	1,249,073
流動資産合計	19,584,566	21,306,029
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,138,935	5,132,351
その他(純額)	2,378,364	2,321,820
有形固定資産合計	7,517,299	7,454,172
無形固定資産		
のれん	19,611	19,066
その他	713,305	715,920
無形固定資産合計	732,916	734,986
投資その他の資産	3,611,059	3,469,416
固定資産合計	11,861,274	11,658,575
資産合計	31,445,841	32,964,604
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,052,107	1,414,742
短期借入金	7,299,340	9,013,035
未払法人税等	85,947	94,632
賞与引当金	114,398	177,047
その他	1,865,731	1,886,509
流動負債合計	10,417,525	12,585,966
固定負債		
長期借入金	4,157,521	3,785,185
繰延税金負債	236,293	160,265
役員退職慰労引当金	517,475	523,550
その他	449,887	404,071
固定負債合計	5,361,176	4,873,072
負債合計	15,778,702	17,459,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,013,529	3,013,529
資本剰余金	2,944,389	2,944,389
利益剰余金	8,791,706	8,875,796
自己株式	156,424	156,424
株主資本合計	14,593,201	14,677,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	656,637	488,749
為替換算調整勘定	417,299	339,524
その他の包括利益累計額合計	1,073,937	828,274
純資産合計	15,667,139	15,505,565
負債純資産合計	31,445,841	32,964,604

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	8,007,574	8,448,925
売上原価	5,818,291	5,949,229
売上総利益	2,189,282	2,499,696
販売費及び一般管理費	2,178,786	2,167,779
営業利益	10,496	331,916
営業外収益		
受取利息	3,769	1,071
受取配当金	30,019	29,556
不動産賃貸料	7,445	7,140
為替差益	8,565	-
受取補償金	11,544	10,364
その他	7,414	4,599
営業外収益合計	68,759	52,732
営業外費用		
支払利息	21,046	18,795
為替差損	-	91,368
地金品借料	10,501	4,257
その他	6,895	5,814
営業外費用合計	38,442	120,236
経常利益	40,813	264,412
特別利益		
固定資産売却益	-	158
特別利益合計	-	158
税金等調整前四半期純利益	40,813	264,570
法人税、住民税及び事業税	51,810	91,728
法人税等調整額	515	1,757
法人税等合計	52,325	89,970
四半期純利益又は四半期純損失()	11,512	174,599
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	11,512	174,599

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	11,512	174,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182,409	167,888
為替換算調整勘定	22,187	77,775
その他の包括利益合計	160,222	245,663
四半期包括利益	148,710	71,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,710	71,063
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日) を当第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
該当事項はありません。

(追加情報)

当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 流動資産の貸倒引当金

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
	13,137千円	13,190千円

2 投資その他の資産の貸倒引当金

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
	660千円	842千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主なもの

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
給料	354,159千円	365,253千円
退職給付費用	18,956千円	14,865千円
賞与引当金繰入額	36,022千円	41,260千円
減価償却費	42,423千円	51,272千円
広告宣伝費	174,900千円	160,239千円
支払手数料	904,053千円	802,869千円
役員退職慰労引当金繰入額	6,075千円	6,075千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	90,666千円	101,766千円
のれんの償却額	544千円	544千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	90,510	9	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月28日 定時株主総会	普通株式	90,510	9	平成28年3月31日	平成28年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

当社グループは、宝飾品の製造、卸、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社グループは、宝飾品の製造、卸、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	1円14銭	17円36銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	11,512	174,599
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	11,512	174,599
普通株式の期中平均株式数(株)	10,056,748	10,056,728

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月 5日

株式会社 桑山
取締役会 御中

監査法人 A & A パ - ト ナ - ズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 坂 本 裕 子

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 禎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社桑山の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社桑山及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の平成28年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成27年8月7日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成28年6月28日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。